

# 日輪草

日輪草は何故枯れたか

竹久夢二

青空文庫



三宅坂の水揚ポンプのわきに、一本の日輪草が咲いていました。

「こんな所に日輪草が咲くとは、不思議じゃありませんか」

そこを通る人達は、寺内てらうち將軍の銅像には気がつかない人でさ

え、きつとこの花を見つけて、そう言合いました。

熊吉くまきちという水撒人夫みずまきがありました。お役所の紋のついた青

い水撒車を引張ひっぱつて、毎日半蔵門の方から永田町へかけて、水を

撒いて歩くのが、熊さんの仕事でした。

熊さんがこうして、毎日水を撒いてくれるから、この街筋の家では安心して、風を入れるために、障子を明けることも出来るし、学校の生徒たちも、窓を明けておいてお弁当を食べることが出来

るのでした。

熊くまさんは、情深なげい男でしたから、道の傍そばの草一本にも気をつけて、労いたわるたちでした。

熊さんはある時、自分の仕事場の三宅坂の水揚ポンプの傍に、一本の草の芽が生えたのを見つけました。熊さんは朝晩その草の芽に水をやることを忘れませんでした。可愛かあい芽は一日一日と育ってゆきました。青い丸まるづめ爪づめのような葉が、日光のなかへ手をひろげたのは、それから間もないことでした。風が吹いても、倒れないように、熊さんは、竹の棒をたててやりました。

だが、それがどんな植物なのか、熊さんにはてんで見当がつきませんでした。円い葉のつぎに三角の葉が出て、やがて茎の端に、

触角のある蕾つぼみを持ちはじめました。

「や、おかしな花だぞ、これは、蕾に角が生えてら」

つぎの日、熊さんが、三回目の水を揚げたポンプのところへや  
つてくるとその草は、素晴らしい黄いろい花を咲かせて、太陽の  
方へ晴はればれ晴と向いているのです。熊さんは、感心してその見事  
な花を眺めました。熊さんは、電車道に立っている電車のポイン  
トマンを連れてきて、その花を見せました。

「え、どうです」

「なるほどね」ポイントマンも感心しました。

「だが、なんとという花だろうね、車掌さん」熊さんはききました。

「日輪草ひまわりそうさ」車掌さんが教えました。

「ほう、日輪草というだね」

「この花は、日盛りに咲いて、太陽が歩く方へついて廻るから日輪草って言うのさ」

熊さんはもう嬉しくてたまりませんでした。熊さんは、永田町の方へ水を運んでいっても、早く日輪草を見たいものだから、水撒車ずまきぐるまの綱をぐんぐん引いて、早く水をあけて、三宅坂へ少しでも早く帰るようにしました。だから熊さんの水撒車の通つたあとは、いくら暑い日でも涼しくて、どんな風の強い日でも、塵ほこり一ツ立ちませんでした。

太陽が清水谷公園しみずだにの森の向うへ沈んでしまうと、熊さんの日輪草も、つぼみました。

「さあ晩めしの水をやるぞい。おやお前さんはもう眠いんだね」  
熊さんはそう言つて、首をたれて寝ている花をしばらく眺めま  
した。時によると、日が暮れてずつと暗くなるまで、じつと日輪  
草をながめていることがありました。

熊さんのお内儀かみさんは、馬鹿正直ばかなかわりに疑い深いたちでし  
た。このごろ熊さんの帰りが晩おそいのに腹をたてていました。

「お前さんは今まで何処どこをうろついていたんだよ。いま何時だと  
思っているんだい」

「見ねえな、ほら八時よ」

「なんだつて、まああきれて物が言えないよ、この人は、いった  
いこんなに晩おそくまでどこにいたんだよ」

「三宅坂よ」

「三宅坂だつて！ 嘘うそを言つたら承知しないよ。さ、どこにいたんだよ、誰だれといたんだよ」

「ひめゆりよ」

「ひめゆり！？」

熊くまさんは、日輪草ひまわりそうのことを、ひめゆりと覚えていたので、その通りお内儀かみさんに言いました。それがそもそも事の起りで、熊さんよりも、力の強いお内儀さんは、熊さんを腰の立たないまで擲なぐりつけました。

「草だよ、草だよ」

熊さんがいくら言訳をしても、お内儀さんは、許すことが出来



ませんでした。

あくるひ

翌日は好い天気で、太陽は忘れないで、三宅坂の日輪草にも、光と熱とをおくりました。日輪草は眼めをさましました。どうしたことか、今日は熊さんがやって来ません。十時になっても、十二時が過ぎても、朝の御馳走ごちそうにありつけませんでした。日輪草は、太陽の方へ顔をあげている元気がなくなつて、だんだん首をたれて、とうとうその晩のうちに枯れてしまいました。



# 青空文庫情報

底本：「童話集 春」小学館文庫、小学館

2004（平成16）年8月1日初版第1刷発行

底本の親本：「童話 春」研究社

1926（大正15）年12月

入力：noir

校正：noriko saito

2006年7月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp/) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

# 日輪草

日輪草は何故枯れたか

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫  
著者 竹久夢二  
URL <http://www.aozora.gr.jp/>  
E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)  
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU  
URL <http://aozora.xisang.top/>  
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>